

命を守るために知って欲しい

# 特別警報

東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、きわめて甚大な被害が出ました。

これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒をよびかけたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結び付かない例がありました。

気象庁では、この事実を重く受け止め、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、新たに「特別警報」を創設しました。

特別警報は、数十年に一度の大雨などが予想されるときなど、これまでにない危険が迫っていることをお知らせするものです。

災害から身を守るために、普段から注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めに安全を確保するための行動をとることが大切です。

## 特別警報がでてから避難すれば良いの？

特別警報が発表される段階は、相当危険な状況で、避難することも難しいことが想定されます。

状況に応じ早めの行動をとるようにしましょう。

## 大雨の場合

**普段から…**

大雨になるおそれ雨が降り出す

気象情報・空の変化に注意

・ 周りより低い場所など、危険箇所を把握  
・ 避難場所や避難ルートを確認しておく

雨が強くなると…

**注意報**

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を  
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動！

・ 気象情報や外の様子に注意  
・ 非常用品や避難場所、避難ルートを確認  
・ 災害に備えて、家の外の備えを点検

大雨が降り続けると…

**警報**

自治体が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難

**Point**  
特別警報が発表されていなくても  
早め早めの行動を！

さらに激しい大雨が続くと…

**特別警報**

ただちに命を守る行動をとる

**非常事態**  
市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難！  
外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

**Point**  
冷静な判断が大事です  
周囲の状況に応じた行動を！

「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守る事ができる行動を考えておきましょう。

浸水の危険な場所  
非常に危険！

# 防災係からのお知らせ

## 防災避難訓練と炊き出し訓練

10月6日(日)に、新冠町防災避難訓練が行われました。

訓練は、浦河沖で午前8時にマグニチュード9.0の大地震が発生し、新冠町を含む北海道太平洋沿岸中部に、大津波警報が発令された想定で行われました。

訓練では避難場所まで徒歩で避難する方、車で朝日小学校まで避難する方、併せて806人の町民が参加し、自宅から避難場所までのルートと避難までに要する時間を再確認しました。

また、職員も泊津生活館に災害対策本部を設置し、避難場所との情報伝達訓練や警察、消防との連携の確認を行いました。



泊津の高台の避難場所の様子



炊き出し訓練の様子

避難訓練終了後には、新冠消防署裏駐車場において中央自治会による炊き出し訓練が行われました。

炊き出し訓練には、新冠町自治会連合会が昨年度購入したレスキューキッチンが使用され、新ひだか町社会福祉協議会の方に指導をいただきながら100名分のカレーライスを作りました。

レスキューキッチンは、自治会連合会において一年を通して貸出しが可能で、訓練以外でも地域のイベントなどでも使用することができます。

## 海拔表示シート

本年度、町内沿岸地区に津波避難対策の一環として海拔表示シートを設置しました。

設置したのは、公共施設などの入口24ヶ所と町道沿いの電柱33ヶ所の計57ヶ所で、その地点の海拔を標示しています。普段から海拔を目にすることで、町内の安全な場所を把握し、津波の危険があるときには、できるだけ高いところへ避難することを心がけてください。



公共施設に設置された海拔表示シート

## 町民防災講座

9月19日(木)レ・コード館町民ホールにおいて、新冠町町民防災講座が開催されました。

防災講座は気象に関する予備知識や、災害に対する心構えなどを学ぶ場として、室蘭地方気象台が業務の一環として行っている事業で、この日は、新冠町に関連する災害として、大雨洪水と地震津波を題材に講演が行われ、約180名の町民が来場しました。



町民ホールでの防災講座の様子